

図 2.3 線状クラックと放射状クラック



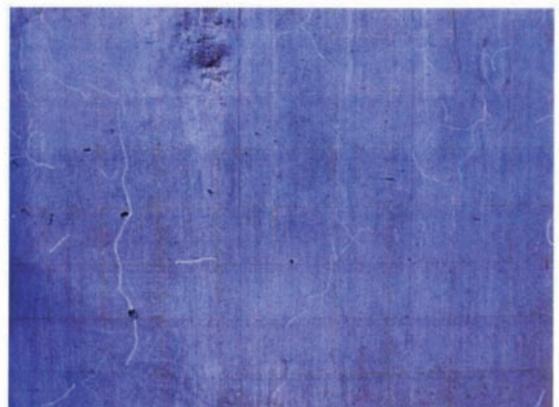
Iゾーン



IIゾーン



IIIゾーン



IVゾーン  
※クラックが微細なためチョークで示す。

写真 2.1 各ゾーンの代表的なクラック

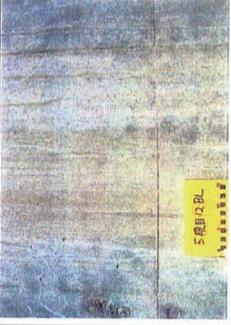
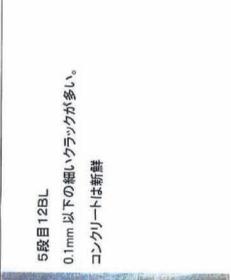
ゾーン	ポップアウト	ひび割れ	スケーリング
I	 <p>2段目15BL 2段目15BL 放射状クラックを伴うポップアウト 確認されない</p>	 <p>1段目15BL 縦状クラックが発達 (一部亀の甲状クラックとなる)</p>  <p>3段目18BL 縦状クラック(密度は低い)</p>  <p>3段目8BL 長手方向クラック(石灰質の析出物を伴う)</p>	 <p>1段目16BL 軽度～中程度のスケーリング 確認されない</p>  <p>2段目16BL 2段目16BL クラック沿いの表層剥落(ピーリング) 確認されない</p>
II	 <p>4段目18BL 4段目18BL 放射状クラックを伴うポップアウト 確認されない</p>	 <p>7段目22BL 放射状クラックを伴う</p>  <p>3段目16BL 放射状クラック</p>	 <p>4段目7BL 5段目7BL 表層の剥落(ピーリング) 確認されない</p>  <p>5段目6-7BL 5段目6-7BL ブロック継目付近スレーキング 確認されない</p>
III	 <p>5段目12BL 0.1mm以下の細かいクラックが多い。 コンクリートは新鮮</p>	 <p>5段目12BL 0.1mm以下の細かいクラックが多い。 コンクリートは新鮮</p>	 <p>5段目12BL 0.1mm以下の細かいクラックが多い。 コンクリートは新鮮</p>
IV			

写真 2.2 ゾーン別劣化状況